

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2014
Jtitle	新版 窮理図解 No.16 (2014. 7) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000016-0007">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000016-0007</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 私の My favorite books 本棚



● **小説「十八史略」** 学生時代にふと見かけて読んでみたところたいへん面白く、全6巻を読破しました。中国の歴史上の人物がどのような作戦で天下を取ったのか、また天下を取った後にどのような苦勞をしたのか、といった内容がいきいきと描かれています。文化の違いで苦勞したポストク時代にどのような作戦をとればよいか学ぶため、何度も読み返したことを覚えています。

● **量子力学** 量子力学の定番の教科書です。基礎から光と物質の相互作用の量子論に至るまで解説されています。光物性を理解するための基礎知識が丁寧に書かれているため、学生時代より何度も読み返しています。日本には、日本の先生が日本語で書いた良い教科書がたくさんあり、他のアジア圏出身の友人からよくうらやましがられました。母国語で勉強できるのはすばらしいことです。

● **光物理学の基礎** 学部の基礎科目から大学院の光物性専門科目へと進むときに、なるべく飛躍がないように説明をつなげるのは大変です。そのため、基礎的な部分から最先端研究をつなぐ本を探していたところ本書に出会いました。電磁気学の基礎の内容から光パルス伝搬に関する最近の研究に関する話題まで、広いテーマを非常に分かりやすく解説しています。光物性物理学の講義を行うにあたり参考にしています。

● **光エレクトロニクス** 非線形光学の物理とその応用技術について、非常に分かりやすく解説されています。私は第二高調波やテラヘルツ波発生など、非線形光学効果を利用した周波数変換技術を解説するときには、いつもこの教科書の記述を参考にしています。光エレクトロニクスは物理学科ではあまり取り扱わない話題ですので、物理学専攻の私にとってこの教科書は貴重です。

● **X線からクォークまで** 20世紀初頭に活躍した有名な物理学者たちが、どのような苦勞をして歴史的な仕事を成し遂げていったのかを、彼らの人間性にも触れながら克明に描いた本です。写真もふんだんに掲載されているので、学生さんで物理が苦手な人にはぜひ読んで欲しいと思います。私も高校生時代に読んだこの本がきっかけで物理学に興味をもつようになりました。

● **光学の原理** 光学分野の代表的な教科書です。日本語版は3冊に分かれていますが英語の原書はたいへん分厚く、光学に関する基礎知識がもれなく説明されているという安心感があります。最近、光の波動的な性質を詳しく理解する必要が生じ、いつも参考にしています。私は学生時代に買った日本語版と、原著の英語版の両方を持っていますが、英語版では最近の話題を取り入れてアップデートしているようです。